

10月6日 西小磯西（西小磯西老人憩の家にて）

〈主なやり取りと対応状況〉

\* 対応状況は⇒です。

【町役場の建替えについて】

- 建替え場所について、なぜ町の津波浸水予想区域内で決定してしまったのか。一方で消防庁舎の建直しについては、城山や本郷あたりを探しているとのことである。町の中央であり、山間の地区や国府にも行きやすいという話であったが、どうして本庁舎も同じ考えにならなかったのか。  
⇒ 町長選挙当選直後は耐震診断を行い、移転先を検討したいと思っていましたが、町議会は耐震診断のための予算を否決し、現庁舎敷地内での建替えを決議されました。その判断を尊重しました。
- 駐車場が3～4年の間、使えないということが問題である。シャトルバスがネックだと思う。  
⇒ 大磯港駐車場の他にも、近隣のコインパーキングを借りることができるよう検討しています。
- 葬儀場は移転していただけないか。  
⇒ お願いはしましたが、聞き入れてはいただけませんでした。
- 4階の議会のフロアは町議会のためにこれだけのスペースが必要なのか。  
⇒ 議会本会議場を1階に設置する計画も提案しましたが、町議会は4階を希望されています。
- 町には国道1号沿いの用地を買えるような用地交渉ができる職員は居るのか。葬儀場の土地はその土地所有者が安く町へ売ってくれようとしていたと聞かすが。  
⇒ 町が購入しようとしたが、議会が反対されたと聞いています。
- 今のところに建て直すことをひっくり返せるのか。そのためには何名の署名が必要になるか。  
⇒ 町は「ひっくり返す」という考え方は持っていません。
- 令和6年9月の補正予算に計上された1億円は何に使うものか。新庁舎は西小磯に建てるのが望ましく、消防署が合築できれば最良であると思う。  
⇒ 基金に積み増す1億円です。新庁舎は現在の庁舎に建築予定であり、消防署の合築は考えていません。

- 庁舎については環境アセスなどでダメにはならないか。  
⇒ 状況としてはなりません。
- 想定される津波の高さは、何メートルか。  
⇒ 現庁舎のあたりは最大で2m前後の津波による浸水が予想されてます。

#### 【その他】

- 学校のいじめ問題について、後始末が悪い。なぜいじめられた人が転校しているのか、教育委員会の対応について理解に苦しむ。  
⇒ 第三者委員会がまさに当時の対応を検証しているところです。
- 農地について、町民税を払わない人が耕作している。土曜日曜に平塚方面に向かう谷戸の町道には車両が止まって通行の妨げになる、印象が悪い。地域の農家が迷惑している。地域の風習や習慣を無視している。  
⇒ 地元の皆様と仲良くしていただけるよう、町としての対応策を検討していきます。
- 農地にかかる規制に苦しんでいる西小磯を開けた土地にしてほしい。  
国道1号沿いの旧農家が更地になっている。農地が売れず、農地はタダで貸して、新規就農者が2~3千円で農業体験させて収益を得ている。国道1号の自分の土地を売るしかない。これが西小磯の農家の現状である。  
⇒ 西小磯の農地や土地利用に関する地元説明会を開催していきます。
- 雨漏りもひどく、「憩いの家」としても一番古い、建替えてコミュニティーを作りたい。器がないとソフト事業も展開できない。  
会館などは「地域で維持管理」と言われてきた。防災の点も考えて町全体のコミュニティーを考えてほしい。  
⇒ 築年数はかなり経っていると承知しています。古い施設から順次対応していますが、私は地域に移管するという考えはもっていません。しかし、財源が問題であることから、防災の側面で検討したいと思っています。  
一方で、24地区すべてに必要なのか、柔軟に考えたいと思います。二宮町では、防災コミセンという集約した施設も作っています。
- 土砂崩れは公表しているか。舟窪で本宅が被害にあった知人がいる。  
⇒ 議会等で報告していますが、家屋への被害は数件、土砂崩れが約50カ所であると把握しています。これらの被害に対しては、様々な対応をとっており復旧工事が進んでいます。

- 土砂崩れの原因については何か。個人所有の木は何とかできないか。町が持つことはできないか。
  - ⇒ 山林の管理が行き届かないことが原因の一つであると考えています。町が持っている山林も少なからずあり、2か月ほど前に民家に大きな木の枝が落下しました。個人所有の山林については、森林環境譲与税の活用などを考えていきます。
  
- 青年会館などは、過去に町が地域から引き取って、その後取扱いに困った。今後、施設の廃止などは考えているのか。
  - ⇒ 公民館などを全ての地区ごとに建てるという考えも、時代の中で変わっていくのかもしれませんが、現時点では廃止の考えはありません。
  
- 三澤川の氾濫対策について、花水川に流すのではなく海に直接流してはどうか。
  - ⇒ 流す先が海水浴場であるということが課題になると考えられます。一時的に雨水を溜める、貯水槽なども一つの考え方です。三澤川の周辺は雨水管が無かったので雨水を排水することができていなかったため、今後は雨水管整備を早期に進めます。
  
- 町職員の人数にも限りがある。どなたか調査やプロジェクトなどの案をまとめることはできないのか。3分の1が高齢者となり時間的に余裕のある人も増えている。
  - ⇒ 町民の参加は重要です。町民が町役場でも働いていただける仕組みを整え、町役場の窓口で大磯愛があふれる地元の方を配置していくようにしたいです。
  
- 消防を含め広域行政を推進すべき。1市2町の合併も夢ではない。
  - ⇒ 合併する自治体によって給与が異なるという点があります。ちなみに寒川町・茅ヶ崎市は茅ヶ崎市に合わせています。
  
- 職員の給与を上げるべきだ。良い職員を取得するためには必要である。
  - ⇒ 職員の給与は昨年上げており、町役場の職員の採用試験は、筆記試験を止め、面接を重視するようにしました。他自治体と比較し待遇を考えることは大切であると考えています。